

原
節
子



スチル写真でみる
日本の映画女優

Japanese Film Actress
from the NFC still photo collection

第2期

トーキーと戦争の時代を中心に

2007年6月19日(火)ー8月19日(日)

東京国立近代美術館フィルムセンター展示室(7階)

*時代順に3期に分けての開催となります。

第1期：無声映画時代を中心に 4月24日(火)ー6月17日(日)

終了

第2期：トーキーと戦争の時代を中心に 6月19日(火)ー8月19日(日)

第3期：戦後の黄金時代を中心に 8月21日(火)ー10月21日(日)

*月曜日および2007年7月23日(月)ー7月26日(木)は休室です。

開室時間：午前11時ー午後6時30分(入場は午後6時まで)

主催：東京国立近代美術館フィルムセンター

ごあいさつ

日本人の手で撮影された最初の映画が公開されたのは1899(明治32)年。また、1908(明治41)年以降は撮影所の建設もはじまり劇映画の量産がいよいよ本格化しますが、日本映画に職業的な映画女優が現れるのは、それからさらに10年後のことでした。それまでの歌舞伎や新派出身の女形たちにかわり、映画女優第一号といわれる「生の輝き」(1919年)の花柳はるみや「島の女」(1920年)の川田芳子、「寒椿」(1921年)の水谷八重子などが銀幕デビューを飾るのは、いずれも1920年前後のことでした。そして、その背景となったのは国活や大活、松竹といった新興プロダクションの誕生や、欧米映画に範を仰いだ進歩的な映画人による映画劇の革新運動でした。女優は、新しい時代の映画を象徴する存在だったともいえます。本展では、無声映画時代からトーキー時代、戦後の黄金期にかけて日本映画を彩った女優たちの変遷を、フィルムセンター所蔵のスチル写真やプロマイドなどでたどります。

2007年4月

東京国立近代美術館フィルムセンター

Foreword

The first film shot by the Japanese cameraman was released in 1899, and the film studios started being constructed after 1908. Since then the early system of mass production of film had gradually formed. However it took ten more years for the birth of the professional film actress in Japanese cinema. The pioneer actresses, such as Harumi Hanayagi, the first film actress in Japan (*SEI NO KAGAYAKI*, 1919), Yoshiko Kawada (*SHIMA NO ONNA*, 1920), Yaeko Mizutani (*KANTSUBAKI*, 1921) etc., began to appear in the screens around 1920. It was mainly brought by the emergence of the new production companies — Kokkatsu, Taikatsu, Shochiku etc. — and the artistic movement to innovate Japanese cinema, which promoted by the progressive cineastes those took the contemporary western films as their models. In the sense, the actress was the symbol of the cinema in new age.

This exhibition follows the footsteps of the actresses those colored the screens of Japanese cinema from silent and talkie era through the golden age after the war with the NFC collection of still photos and bromides

April, 2007

National Film Center,
The National Museum of Modern Art, Tokyo

凡例:

- ・本リストの通番と会場内の配列順序は一致していない場合があります。
- ・出品内容は止むを得ず変更される場合があります。

1. 葛城文子
2. 田中絹代
3. 水ノ江澄子
4. 橘喜久子
5. 木下双葉
6. 大山デブ子
7. 竹久千恵子
8. 清川玉枝
9. 高峰秀子
10. 花井蘭子
11. 山路ふみ子
12. 山田五十鈴
13. 東龍子
14. 北見礼子
15. 月宮乙女
16. 堤真佐子
17. 坪内美子(美詠子)
18. 中野かほる
19. 深水藤子
20. 星玲子
21. 光川京子
22. 毛利峯子
23. 江川なほみ(宇田川幸子)
24. 大倉千代子
25. 三城輝子
26. 千葉早智子
27. 久松三津枝(美津江)
28. 水戸光子
29. 村田知栄子
30. 大河百々代



田中絹代



山田五十鈴



高峰秀子

31. 霧立のぼる
32. 黒田記代
33. 桑野通子
34. 里見藍子
35. 沢村貞子
36. 忍節子
37. 高杉早苗
38. 水島光代
39. 三宅邦子
40. 細川ちか子
41. 清川虹子
42. 香住佐代子
43. 椿澄枝
44. 花柳小菊
45. 原節子
46. 姫宮接子(姫美谷接子)
47. 比良多恵子
48. 真山くみ子
49. 水川八重子



李香蘭

50. 森光子
51. 若原春江
52. 梅園龍子
53. 悦ちゃん
54. 音羽久米子
55. 高野由美
56. 高峰三枝子
57. 高山廣子
58. 橘公子
59. 古川登美
60. 森川まさみ
61. 山根寿子
62. 淡島みどり
63. 風見章子
64. 轟夕起子
65. 平井岐代子
66. 榎美佐子
67. 明日待子
68. 木暮実千代
69. 日暮里子
70. 松浦妙子
71. 三浦光子
72. 水町庸子
73. 美鳩まり
74. 李香蘭(山口淑子)
75. 草島鏡子
76. 宮城千賀子
77. 朝霧鏡子
78. 月丘夢路
79. 矢口陽子
80. 相馬千恵子

発行・著作： 東京国立近代美術館◎
〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園3-1
TEL 03-3214-2561

編集： 東京国立近代美術館フィルムセンター
〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6
TEL:03-3561-0823

制作： 印象社

発行日： 2007年6月19日